

# 統計アラカルト

熊本の統計情報

令和2年9月17日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページで

随時、色々な統計に関する話題・データを紹介します。

## ネットショッピングの利用状況について調べてみよう！

みなさんは、スマートフォンやパソコンを使って、情報を検索したりSNSを楽しんだり、日常的に”インターネット”を利用しているのではないのでしょうか。

なかでも、24時間どこからでも注文でき、すぐに対応してもらえることができる”ネットショッピング”は、その便利さから利用したことのある人も多いのではないかと思います。

そこで、今回は、「家計消費状況調査」(総務省統計局)の「二人以上の世帯」のデータを使って、それらの世帯のネットショッピングの利用状況を少し調べてみました。

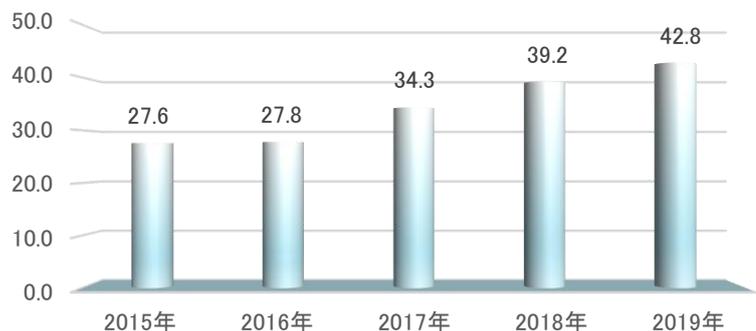
### 1. 利用割合の推移

はじめに、どれくらいの世帯がネットショッピングを利用しているのか見てみましょう。

図1はネットショッピングを利用した世帯割合の推移です。

これを見ると、世帯の利用割合は毎年増加しており、2019年には約4割にまで増加しています。

【図1】ネットショッピング利用世帯の割合[%]  
(二人以上の世帯)



### 2. 世帯主年齢層別利用割合

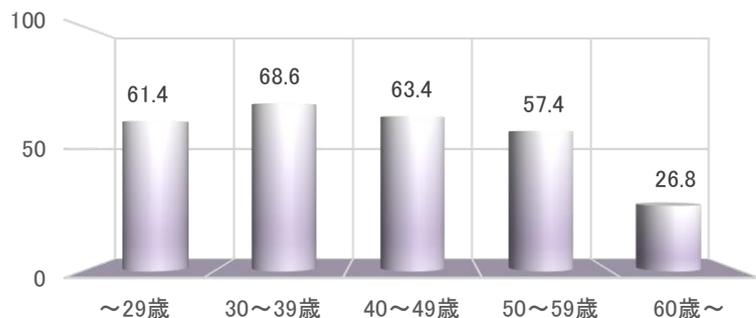
ここから先は、最新の2019年のデータを紹介していきます。

まず、世帯主の年齢層によりネットショッピングの利用割合がどう違うのか見てみましょう。

図2によると、最も高いのは「30歳代」(利用割合68.6%)となりました。

一方、最も低いのは「60歳代以上」(同26.8%)であり、「30歳代」と比較すると、その利用割合は半分以下となっています。

【図2】世帯主年齢層別ネットショッピング  
利用世帯割合[%]  
(二人以上の世帯、2019年)



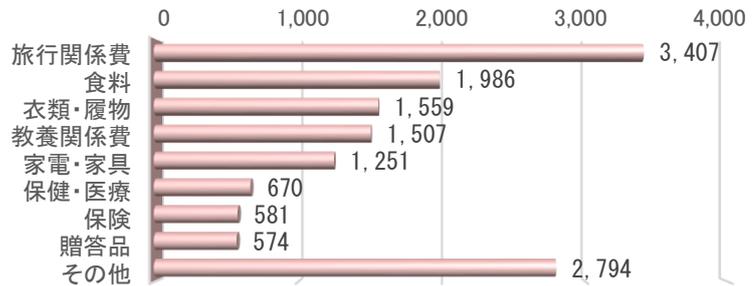
### 3. 項目別支出金額

次に、各世帯がネットショッピングの際にどのような商品(サービス)に支出しているか見てみましょう。

図3によると、「旅行関係費」の支出が最も多く、次いで、「その他」、「食料」等となっています。

なお、「その他」には、「化粧品」、「自動車等関係用品」、「アクセサリ、家事雑貨等」が含まれています。

【図3】 支出項目別1世帯当たり  
1か月平均の支出金額[円]  
(二人以上の世帯、2019年)



### 4. 「食料」の内訳別比較

最後に、私たちに身近な「食料」について、もう少し調べてみましょう。

図4は、「食料」の内訳(食料品、飲料、出前)ごとに、世帯主の年齢層が異なると支出金額がどう異なるのかを表したグラフです。

#### ①「食料品」

これは、健康食品を除く食料のことです。最も支出金額が大きいのは「30歳代」です。

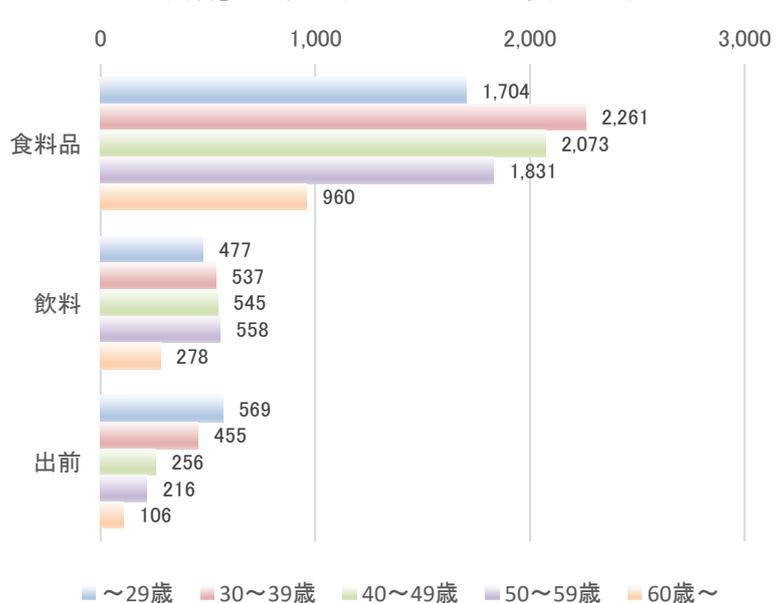
#### ②「飲料」

これには酒類も含まれています。最も支出金額が大きいのは「50歳代」です。

#### ③「出前」

これは、弁当・宅配・外食のことです。最も支出金額が大きいのは「20歳代以下」です。

【図4】世帯主年齢層別1世帯当たり  
1か月平均の支出金額[円]  
(「食料」の内訳別、二人以上の世帯、2019年)



以上、「家計消費状況調査」(総務省統計局)の「二人以上の世帯」のデータを使ってネットショッピングの状況を少し調べてみましたが、みなさん、いかがでしたでしょうか。

新型コロナウイルスの影響による「新しい生活様式」の広がりに伴い、ネットショッピングの利用は今後もますます増えていくことでしょう。2020年の年次データが公表されたときに、2019年からどのくらいの変化があるのか気になるところです。月次データも公表されていますので、ネットショッピングの利用動向が気になる方はそちらもご覧いただければと思います。

熊本県の統計情報は

「[https://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c\\_id=3&class\\_set\\_id=1&class\\_id=1297](https://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c_id=3&class_set_id=1&class_id=1297)」をご覧ください。

問合せ先: 熊本県企画振興部統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp